

# 【平成 29 年度「国立大学若手人材支援事業」】

## 新潟大学研究推進機構超域学術院特任教員募集案内

(食品安全学, 食品衛生学分野) ※女性限定

### ●概要

超高齢社会の到来, 健康寿命の延伸, QOL の向上, EPA/FTA 締結による一層の食のグローバル化に伴い, 食の安全性に関する研究の必要性が益々高まっています。新潟県は, 米を代表とする農林水産物に恵まれた農業県であるとともに, 米菓, 餅, 日本酒や水産練製品の製造を中心とする 1,000 社を超える食品関連企業を有する食品産業県でもあります。新潟大学は, 食品産業が非常に盛んな新潟県に立地し, 様々な関係機関・関係団体と連携しつつ食に関する多方面の研究を推進しています。本学では文部科学省「国立大学若手人材支援事業」の支援を受け, 食品科学分野のさらなる充実を目指し, 食品安全学や食品衛生学などの食の安全に関連した研究に携わる特任教員(助教)を公募します。

本公募では, 募集研究分野における研究を自立的環境で推進するとともに, 関連分野の教員とも連携・協力し, 本学の食品科学, 特に食品安全学や食品衛生学などの食の安全に関連した研究の一層の発展に資する方を募集します。

なお, 本制度においては, 特任教員期間終了時に業績の確認を経て, 本学の超域学術院の承継教員ポストへ移行します。また, 特任教員である期間並びに超域学術院の教員である期間をテニユアトラック期間と位置付け, 最終年度にテニユア審査が実施されます。

テニユアトラック期間終了時には, 教育研究院自然科学系(農学部)においてテニユアポストが用意され, 優れた業績を挙げた者は任期の定めのない常勤の職に採用されます。

### ●公募要領

#### 1 募集研究分野および募集人員

新潟大学において将来発展が見込まれる以下の研究分野で計 1 名を公募します。

募集研究分野	募集人員	
食品安全学, 食品衛生学	特任助教	1 名

#### 2 所属

人事的な所属は新潟大学研究推進機構超域学術院となりますが, 研究活動は関連部局(農学部・大学院自然科学研究科)で行うこととなります。

#### 3 応募資格

- (1) 博士号取得後 10 年以内で, 上記の募集研究分野での研究実績を有し, 独創的かつ革新的な研究を推進する強い意欲を持つ若手研究者。
- (2) 平成 29 年度末時点で 40 歳未満であること(文部科学省, 平成 29 年度国立大学若手人材支援事業が規定する応募資格を充足する目的で設けられた項目です)
- (3) 女性であること。

※ 本学では, 男女共同参画推進室 (<http://www.niigata-u.ac.jp/geo/>) を設置し, ダイ

バーシティ推進の視点に立った教育・研究・就業環境の整備を推進しています。本公募では、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。

- (4) 募集分野に関連する講義を担当でき、日本語または英語により学生に、分かりやすく教えることができること。

#### 4 研究環境

スタートアップ経費として初年度に限り 200 万円/年を配分する予定です。研究スペースとしては 70 m<sup>2</sup>程度を、研究活動を行う関連部局が無償で提供します。

#### 5 職務

- (1) 食品科学，特に食品安全学や食品衛生学分野に関する研究・教育を行うこと。
- (2) 担当分野に関わる研究に精力的に取り組み，卓越した研究成果を国内外に発信すること。
- (3) 科学研究費助成事業などの外部資金獲得に積極的に取り組むこと。

なお，エフォート率 80%の研究時間がテニュアトラック期間にわたり保障され，大学の管理・運営に関する業務は原則として免除されます。ただし，研究分野に関連する学部・大学院の科目担当をお願いすることがあります。

#### 6 雇用条件

- (1) 給与等 年俸制（国立大学法人新潟大学特任教員等及び短時間勤務特任教員等給与規程による）
- (2) 任期 平成 30 年 1 月 1 日（予定）～平成 33 年 3 月 31 日  
※平成 33 年 4 月 1 日より下記「8 テニュアポストへの登用」にあるとおり，超域学術院の承継教員ポストへ移行します。  
※平成 29 年度中に着任できることが必須であり，研究経費の計画的執行の観点からも，できるだけ早い時期が望ましい。
- (3) その他
  - ・ テニュアトラック期間中にライフイベント（出産，育児等）があった場合は，テニュアトラック期間を最長 1 年間延長します。

#### 7 勤務条件

- (1) 勤務場所は，新潟大学農学部（五十嵐キャンパス）となります。
- (2) 就業に当たっては，新潟大学の諸規則を適用します。
- (3) 知的財産権は，国立大学法人新潟大学職務発明規程に基づき，本学の所有となります。

#### 8 テニュアポストへの登用

今回採用される特任助教は，特任助教期間終了時に，業績の確認を行ったうえで，平成 33 年 4 月 1 日より超域学術院の助教に採用されます。また，特任教員である期間並びに超域学術院の教員である期間をテニュアトラック期間と位置付け，最終年度にテニュア審査が行われます。

テニュアトラック期間終了時には，教育研究院自然科学系（農学部）において，テニュアポストを用意してありますので，優れた業績を挙げた者は，任期の定めのない常勤の職に採用されます。最終審査で適格と認められた場合，平成 34 年 4 月 1 日より新潟大学准教授（または助教）

自然科学系として採用されます。

なお、評価の基準としては、テニュアトラック期間中の「研究活動実績」，「教育活動実績」，「外部資金獲得実績」，「地域貢献・国際交流その他の活動実績」を考慮して総合的に評価を行います。

## 9 提出書類

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 研究業績書（様式2）
  - (ア) 著書，学位論文，学術論文（レフリー付き論文のみ），総説，報告書（レフリー無し論文を含む），国際会議発表論文（招待論文がある場合には明記のこと）および最近5年間の学会発表（口頭・ポスター別）に区分して記述する。インパクトファクターのある雑誌には\*印をつける。
  - (イ) 主要な学術論文（5編以内）の別刷（コピーでも可）を添付する。
- (3) 科研費のこれまでの獲得状況，それ以外の競争的資金，受託研究費などの最近5年間の獲得状況について，それらの種目・種類，題目，研究代表者名，金額（分担の場合は分担額）および研究期間をまとめたリスト，ならびに特許・実用新案（出願中も含む）等を記したリスト（任意様式）
- (4) これまでの研究概要および採用された場合の研究や教育の抱負について，それぞれ2000字程度にまとめたもの（任意様式）
- (5) 研究計画調書（様式3）（本学に採用された場合の5年度間の研究計画について図を含め，10.5ポイントの文字を使用し，A4判用紙5枚以内で作成。併せて，着任可能時期についても明記すること）。
- (6) 研究費使用計画（「4 研究環境」に記載の配分予定額をもとに，備品費，消耗品費，旅費，その他に分け，主な支出内訳を明記して，使途予定を表（任意様式，A4判用紙1枚）としてまとめること）
- (7) 応募者について照会可能な方2名の連絡先（氏名，所属，電話，電子メールアドレス）

## 10 応募方法

「提出書類」の(1)～(7)の書類をそれぞれPDFファイルにしたものを電子メールに添付の上、「12 問い合わせ先および提出先」に記載の提出先にお送りください。その際，メールの件名に応募研究分野を判るように「国立大学若手人材支援事業（食品安全学，食品衛生学分野）応募」と明記してください。容量の関係で送付できない場合は，メールの件名に1/2，2/2等と記載し，分割し送付ください。（応募後，平日において，翌日までに受理通知が届かない場合は，お問い合わせください。）

なお，別途郵送による提出は不要です。

応募に関する秘密は厳守します。また，応募いただいた個人情報は，個人情報保護法ならびに本学規定に基づいて適切に取り扱いますが，選考上必要な範囲において照会等を行う場合がありますので，ご了承ください。

## 11 選考スケジュール

- (1) 応募締切：平成29年10月5日（木）17:00 必着（日本時間）
- (2) 選考方法：応募書類による選考を行い，最終選考で面接を行います。なお，面接を受けて

いただく場合の費用（旅費等）は自己負担となります。面接は、本学にて10月16日の週での実施を予定しています。

(3) 選考結果：決定次第，本人宛通知します。

(4) 着任時期：平成30年1月1日（予定）

平成29年度中に着任できることが必須であり，研究経費の計画的執行の観点からも，できるだけ早い時期が望ましい。

## 1.2 問い合わせ先および提出先（メールにてお願いします）

### 【研究分野の問い合わせ】

新潟大学農学部応用生物化学科 教授 西海 理之

E-mail: riesan@agr.niigata-u.ac.jp

### 【提出先・その他応募に関する問い合わせ】

新潟大学研究企画推進部研究推進課研究推進係

TEL 025-262-6602, FAX 025-262-5645

E-mail: kenkyushien@adm.niigata-u.ac.jp

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050

## 1.3 その他

新潟大学研究推進機構超域学術院，新潟大学農学部，新潟大学大学院自然科学研究科については，それぞれのホームページを参照してください。

新潟大学研究推進機構超域学術院

<http://www.niigata-u.ac.jp/transdiscipline/>

新潟大学農学部

<http://www.agr.niigata-u.ac.jp/>

新潟大学大学院自然科学研究科

<http://www.gs.niigata-u.ac.jp/>